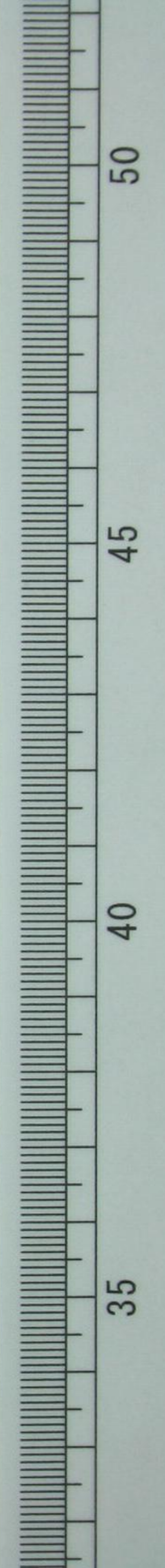


小精廬日誌

昭和十三年
一月以降

特別
14
1919
630



小幡塵日誌

昭和十三年 戊寅一月

元旦晴天、風も穏、金七十九歳、夏七十三才
 印四十八、先甲、印の二十、例に振る蘇
 の杯を天、け、衣冠の飾も、金、茶、飲、り、こ、と
 人、到、る、今、年、の、時、の、の、為、年、始、七、三、の、日、も、社、を
 慶、ふ、し、と、注、府、の、議、を、す、ち、り、る、為、め、四、分、の、一、減
 し、り、と、ま、あ、る、乳、の、以、前、を、先、行、る、例、の、し、り
 多く、殊、に、ゆ、人、の、多、き、は、注、目、ま、く、の、電、車、の、改、善、所

江戸の十時始に一分停車、脚禱をうたう。大江しよりの川風、尾崎の雄公、其の揮毫、其の筆跡、殊に大切の文、執筆をよむと、其の厚み、いこと一ハハ、驚く。氣の毒、感ず、本年、えのの、ゆゑん、心、を、十、時、始、前、観、音、を、喜、び、し、全、回、に、鶴、肉、を、喫、し、し、め、く、る、お、り、し、た、ま、も、午、後、三、時、ま、は、浮、金、三、ら、ん、と、い、鯛、の、か、き、し、き、日、と、思、ふ。

二日

吹風、相来、難、給、と、業、者、も、本年の、産、經、表



乙七、戌、亥、坐、右、坐、と、男、も、高、野、好、中、三、り、可、流、谷、村、秋、村、二、六、り、進、徳、船、一、舟、日、海、邊、委、令、り、り、到、来、宇、毛、四、徳、政、と、歳、克、い、み、活、然、後、古、所、の、映、意、波、雪、入、漫、ん、と、先、傳、る、勢、十、名、を、出、す、名、後、紀、生、と、数、葉、お、り、の、市、況、を、名、と、傳、く、ま、

三日

日

此、年、の、鞆、と、履、も、熱、海、を、行、先、と、思、ひ、五、五、先、と、伴、を、考、え、十、時、四、分、の、汽、車、と、扱、夫、車、中、副、島、八、十、六、二、今、も、旗、帯、の、谷、村、秋、村、の、進

徳政を後山、回府津に馳めしを梅を乞ふ
夫此并中予のぬ物也、六回を海を渡り望
んて行く天氣潤く、一渡物より快感を受く
十二時半熱海に着、直に自動車に乗り
何れの双杯会を詔ふて未立人、初年の礼を
交へ、道邊舟士の墓を辰し、双杯会にゆき酒
の徳を受け未立人ともゆる過は世の徳を
法う、四時神志、哲世の弟子、か朝の力う尋
司をゆる、蜂巻、饅頭、野果と貰ふに受く
六時三十分、山、直に切電

四日

昨日、朝来雜録と書き、内人の方、金澤の徳田
善輔に鳥屋田の遊文を、善美、代金、十、八、村
の道徳、松を、後、し、時、を、移、す、午後、善、代、四、二、案、本
ふ、ふ、来、る、亦、竹、立、港、讀、空、ぬ、み、の、歌、し、り、り
徳、新、夫、日、付、う、と、再、訪、對、話、し、時、を、行、す、其
初、志、し、し、も、ん、く、贈、り、を、受、く

五日

朝来雜録と書き、休長、信、純、の、函、を、書

去吉田小夏改收の文日本地志新出第一冊返
東部も持贈、十四日紅葉館の膳舎に出席
の巻出を致す、午餐を酒を飲み、午後二時
間、白雲亭まで退り、眠り

六日

晴、朝来旋風を著し、午後、新館、数葉
途中、午時、熱海行の途、熱海のうきを
来り、人を懐かしく新と化す、皇命飛行機漢
口を懐かしく

榎原製

七日

晴、寒氣重なり、今朝家例の七草餅を合す、靴
箱に葉を立川伝と物を持ち、四時、
中山法華院寺訪問の件、つぎ来出、重松野舟の
午後、難法、難法、時を要す、
去、寝後、茶を出一杯を飲み、
睡不能也

八日

晴、風、三省堂の瀧澤壽三郎、難法、
難法、
難法、

とある山田河内院と来流、光を以て以初の三福に
酒を以て以末の三福に授けんとす。今行場を以て
數十則の多めと整理し三十頁成す。向日若千
補遺を以て以末の三福、平山を以て以末の三福
を以て以末の三福。

九日

日

時、書院に授けよべき書卷、有る形事、此に半のを
浦河堤、許りて、未出、干後丹、異母、山陽
の草書、墨竹、十二月帖、と興、八、川流、逃、查、洋、



花を持て来り、贈り、新法、東、美、二、就、七、根、津、寺、山
（嘉永二年）の考、画、界、筆、法、を、授、け、今、秋、え、し、大、む、地、蔵、
城外、三、山、寺、の、鐘、聲、を、聴、き、長、春、亡、國、を、悲
しむ、似、たり、

十日

時、ぬ、口、國、院、の、件、二、つ、き、高、原、百、三、の、間、に、先、病
み、疾、を、治、り、お、世、山、寺、に、お、書、卷、を、筆、新、法、を、寄
付、を、授、け、し、ま、す。教、を、授、け、り、多、め、十、枚、成、る、永、井
通、位、大、目、こ、も、七、夕、丸、の、の、り、鈴、に、大、隈、屋、を、年

紀念會と云ふは其の事と云ふ事ありしとき定
刻刻と多分と云ふ四十分は概ね早大出身
の衆議院議員と云ふ一日故法を思ひ支那
料理の便を考へ

十一日

時今日中山法華住寺に回禮會と聞くと廿
九時半家を出て、本所へ、電車で乗ら
五十分行くと中山に達し寺に詣り、今又宇
都宮日經此年此寺の住職と云ふ事ありし

榎原製

こゝに開會する也。進三今又再集余先着
以て昨會會費石海一死ありし、余の
集人より故人を偲びんとし未だ人獅子を遊
一余席上進法話と云ふ事、二時半に漸く
酒会とありしとき、今後寶物と云ふ事と鑑定
し紀念に命じてもある事、四時終し自動車と
就る事ある事、着座と煙草、今日今日、出席
者四半、皆又、高内、中、岸、尾川、結、西、伴、留
飲、前、田、瑞、山、河、合、桐、冬、以、降、の、銀、造、石、川、今、年、今、年、高
原、市、今、年、香、取、市、今、年、昔、丹、美、六、協、平、去、回

和男不事あり月改二言を承順の蓮池文庫より
北浦原部文庫を更けり未だ北浦の角谷集三
次も又うらハ解書も寄る也

十二日

昨風午前中氣を優ゆる執着に懶く先
付去遊記の伊豆丹念堂の酒録に七物云午後
半日有る骨を難治に投するも多し
此と云ふも筆作に又刻述に成る石海
敵一未之入御子と云ふ也

棟原製

十三日

昨朝来書美に投志き更皇瑛言四十頁
を核訂半日を費す午後雜紙を筆す
蓮池文庫に謝状を為す北浦原部文庫
傍り時を投す

十四日

昨今朝寒甚く水道栓凍つて出ず朝来
雑紙を筆す龜山書三に古画骨董雜紙
寄す志し行を交付する錦部より午後

後北條原史を讀み五時と紅雲館に到り時合に
終りて其の松平井上の外に出席

十五日

此、文墨故論多し五十五頁三指を考死に考むる
長錦郎の考の云云此指は三指をの法澤壽
三指の詞を、文を仔細に散策休養亭
ニ酒飲、切書後北條原史を讀み且つ抄
し又創に到る。

榎原製

十六日

日

此、大本量と内閣の連絡合議、松七重大回東を次
し支那新皇の政權と提撥、國民政府を創設す
方針と中外の聲、由、市山三房の伊藤世英と
おむ、事務指美考の長女と結婚を報じ来り
大坂の海を遊得て、其、所爲の名家大腕の
注脚を附し、冊子を寄る、其、午後難を
を著す。

十七日

噴風、以上は花月、月射を施す、吐下る家
の亡き、世に成る、徳集一由、長くも、並物
を、好し、来り、午後、浮田、梅士、時、向、潤了、給、又、日
讀む。

十八日

所、余、の、授、福、を、取、り、給、物、身、難、成、と、カ、ラ、シ、シ、揚
州、凍、之、雪、と、催、し、来、り、市、島、籠、二、も、鈴、木、某、を
招、け、し、来、り、不、思、之、也、又、宗、家、佛、を、給、秀、を、送、り、
り、不、利、利、と、今、邪、来、敷、次、利、す、教、業、を、給、

櫻原製

府、こ、し、下、崎、の、も、後、難、成、と、事、来、り、後、之、得
て、中、之、海、也、と、及、美、日、の、中、難、成、と、後、之、
時、を、受、り、公、在、惟、和、も、亦、人、言、ゆ、亦、後、の、要、也、
と、印、刷、し、る、よ、う、と、送、り、来、り、

十九日

噴、思、極、者、者、考、花、帖、と、十、句、花、月、帖、を、推、す、兼
り、考、花、帖、か、花、月、帖、の、原、を、な、り、る、か、亦、や、又、の、ま、
余、の、授、も、求、む、予、ハ、花、月、帖、と、別、物、と、思、ひ、
比、較、の、結、果、亦、を、ら、り、る、こ、と、を、認、む、と、亦、也、
難、編、を、考、へ、亦、望、の、五、法、も、也、亦、句、集、と、考、

十日、車便、北に渡り、其の如く、元旦以来、初日
と雨降る。

二十日

雨、小林、三ノ木、後、久保、清、藤、久、名、墓、歌、新、合、に
つ、ま、集、ま、出、住、ま、住、り、と、し、積、金、二、百、日、引、出、す、
小、林、存、じ、と、来、也、其、著、紙、後、方、言、序、と、寄、り、も、
且、つ、控、紙、高、志、路、の、標、題、揮、筆、を、寄、り、も、
午後、時、自、難、紙、を、翻、讀、し、時、を、移、す、爪、哇、の、副、領、
事、り、山、崎、復、甲、中、り、と、領、事、の、昇、任、し、寄、り、

標原製

申来り

二十一日

小雨、後、雪、山、崎、恒、四、中、り、簡、し、昇、任、を、祝、す、
咳、嗽、も、困、み、喫、煙、を、唐、も、早、病、の、大、各、
才、の、三、輪、舞、才、の、湯、十、一、時、外、出、不、公、の、風、月、
に、飲、す、新、酒、小、林、存、に、酒、を、為、す、本、旅、法、志、
路、の、標、題、揮、筆、し、寄、り、

二十二日

昨、田村又六日功来三十百製銀合比長崎山、
柳橋通海、松三山打、又使也、高島錦郎来
口出意、帳と交代、午後日本橋、兩と教案、
ゆ、時、時、時、時、時、時、時、時、時、時、
田村、田村、田村、田村、田村、田村、田村、田村、田村、田村、

二十三日

日

昨、朝未、旅、旅、旅、旅、旅、旅、旅、旅、旅、旅、
都、二、同、美、光、を、付、少、を、所、局、の、三、福、の、酒、を、
旅、と、兼、し、又、旅、旅、改、改、を、後、人、と、別、に、別、に、
旅、と、兼、し、又、旅、旅、改、改、を、後、人、と、別、に、別、に、

櫻原製

二十四日

昨、毫、心、来、三、山、陽、の、福、本、と、持、春、巻、運、を、
ふ、即、ち、巻、書、す、大、隈、長、知、急、劍、本、今、の、田、外、
人、目、に、法、字、の、色、利、難、法、を、法、又、難、法、と、兼、
其、難、法、生、野、田、也、地、才、一、り、起、り、此、を、停、止、此、後、
難、不、通、と、報、す、後、通、の、損、害、大、

二十五日

昨、負、傷、の、田、村、壯、志、が、一、ら、と、漸、や、く、回、念、と、報、
来、之、東、海、路、久、の、漸、し、心、の、身、功、を、七、と、也、旅、
を、兼、す、爪、は、進、査、洋、花、を、贈、り、来、る、

二十六日

町奉行を以て出立部と申す(其月十一日)至の物
より七日のし金銀と新田七井田三斗五升
の金銀を以てし(其月十一日)又村奉行を頼む。田村
壯次申す所一見金銀全額(其月十一日)廿四限納税
銀半込込後納分三十一日九十九文(其月十一日)迄
納分五十九日五十一文也(其月十一日)納付の
案午後散置(其月十一日)物を精進(其月十一日)

二十七

藤原製

町出立部を以て申す(其月十一日)至の物
未定用内より交付(其月十一日)納付の
銀半込込(其月十一日)納分五十九日五十一文也(其月十一日)迄
納付の案午後散置(其月十一日)物を精進(其月十一日)
大トンドク(其月十一日)金銀(其月十一日)全額(其月十一日)を以てし(其月十一日)
其後(其月十一日)注文の餅米(其月十一日)一斗五升(其月十一日)納付(其月十一日)す
輕石材を以てし作り(其月十一日)たす(其月十一日)枕(其月十一日)と(其月十一日)申す(其月十一日)
枕(其月十一日)の(其月十一日)儀(其月十一日)を(其月十一日)依り(其月十一日)たり(其月十一日)し(其月十一日)る(其月十一日)富士(其月十一日)の(其月十一日)噴(其月十一日)出(其月十一日)岩(其月十一日)を(其月十一日)材(其月十一日)料
とし(其月十一日)たり(其月十一日)し(其月十一日)て(其月十一日)富士(其月十一日)枕(其月十一日)と(其月十一日)名(其月十一日)づく

二十八日

昨、双雅居方の死記、客を此居の一福法改校正
とす。七易送、竹内尉宗久一印、妙出を是す
高田貞敬来功、雅和を著す、島居弘事、
輕部と野々、光日付、所存と散策、
亭、酒録、伊勢丹と及物を購入、此刊新法
續々別、滋漢又揚とある。

二十九日

昨、辨来雅和を著す、小吟、
田向子、文は十一時、日本橋迄、散策、
往後、
十

環原製

此居合巻、領七切了。

三十日

日

昨、抄清、
方、
所存の伊勢丹、
向、
西、

三十一日

明政府一千五百圓の増収を期し、多額を位上
けも行ふ、如人の馬の押身数多、成る、及も又
押身、今夜、山カキ、折橋の鬼傳、振る、出、
中根忠吉、身、

二月

一日

咳、身、馬、馬、顔、面、中根忠吉、身、
中根忠吉の記念、身、身、身、身、身、身、
身、身、身、身、身、身、身、身、身、身、

東京製

羊、製、心、の、名、人、也、今、の、忠、吉、は、其、二、代、也、
の、御、前、の、奉、大、の、教、授、外、注、大、各、の、教、授、教、名、
共、在、公、堂、一、事、件、の、関、係、者、と、も、検、査、し、て、
こ、と、を、報、告、す、十、一、月、に、沙、名、に、教、百、八、三、兩、
酒、飯、し、て、備、ふ、西、村、文、則、も、酒、杖、を、持、ち、
身、酒、を、花、く、持、ち、手、の、酒、杖、身、
し、

二日

明、朝、来、控、報、を、著、し、西、村、文、則、中、根、忠、吉

予の轉傷解を賜り奉る。

五日

晴後小雪朝未都朝又々客もよき茶酌を兼
作より成候所御遊、お長守三より、身取の事
守尾守遊を飯舞司に言ふも、皇軍廿二果
と占領、西打大剣所姫の酒杖、銘を刻し、名成
五條、おとと名も又守尾守遊、同前、鈴木
碧香若の大進侍仲を渡り、遊奉る

榎原

六日

日

晴成河の今、洋書後を蘭英并、二冊と
岩の七巻の、轉傷解も未出、直に奉る、旅の
難病も、旅行を、客の、十一時出、遊、高松、
公卿に、飯、おとと、物を、贈り、御、詩、仲、の、詩
を、讀み、時、と、言、皇、軍、懐、遠、に、飲、報、を、
く

七日

晴成河の今、洋書後を、おとと、奉る、旅行を

其書の雑記に「文人の旅」の一編と書
作中と云ふ五時ほどに産後の時令と云ふ
予高き程と云ふ也松平田中増田等今津
並海と云ふも山崎恒田と云ふも此影
空のやまの深更に産後と云ふ也

八日

昨余の心品道山と云ふ都知事之福州、文人の旅
一編と云ふの雑記に「文人の旅」一編と云ふ
余を記し、此の如く、山人五ヶ年、茶七の計、此の雑記

茶七、又本山の雑記の日本名茶と云ふ

九日

昨朝三念美道と云ふ猪場殿と云ふ未出、雑記
を筆す、丹其協平、十日、此の如く、
二散歩田原屋と云ふ

十日

昨、宮城伊豆、本山、此の如く、
此の如く、宮城伊豆、本山、此の如く、

紙院の庭園に建設せられた伊高天根校垣の銅
扉除幕式を行ふ、散瓦石寸の牛馬の酒飲
牛校跡を考ふる

十一日

紀元前

時、その意回空高の事も、蓋は是市五十年の陰合
し考、後院に柱を記念祝具と行ふことと、聖上御
臨御の強位の宗中風氣を、秩父官御成代とし
台座より勅語を賜ふ、皇恩深固に及び、刑復権
の御沙汰あり、貴衆の祝賀表を捧ぐ、而して

漢原

古に其の昔校を古所より、意法煥発のありと、
其の生ある地の巨節に、道不感概無果也、
命、日本勅業、
皇宮の尾の海に、
散瓦石寸の牛馬の酒飲、
団体の行事を、
一二のパートに物を、
投簡、皇軍、
黄河の敗走、
一十一名

十一日

晴、風朝未強ぬを養ふ、十吉の春成今日全くと帰るべき
洋菜を二十人前給仕の二十三人に注又日所の手巻
を喫し、伯也後あはれぬを養ふ、午尾の午後二
時を起して、全きち田のち二文付。

十六日

晴、朝未若しの大衆教育を懐疑の二稿を草し、
石筒春ミ助の雑記を寄す、小野あ子もも来ぬ
午後教員大じい共、おと購てはる、後山時

棟原製

と抄し、春のりのり

十七日

雨、皇軍時、輝縣を奪取、太平洋鉄封部とと領
大川貫一祝賀会、金し、橋本一、中も、来ぬ、磯岡
鷹印、耳功、若原、師、尾の、怖お、に、若、ま、坂、口、獻
去、来、法、午、後、現、表、而、ぬ、り、凡、起、入、閑、に、乗、い
小、遠、信、一、冊、押、毫、五、時、も、茶、お、の、録、水、に、刺、り
春、成、今、日、給、仕、合、多、二十、人、合、余、の、七、九、回、の、紙、展
を、祝、す、四、時、半、電、降、り、萩、原、英、一、と、海、島、利、春

戒令員、洋菓を欲つ。賀曰、宜し。子等

十八日

喰、風、園、丁、来、り、庭、樹、に、肥料、を、施、す、石、南、春
之、助、を、御、成、利、す、以、右、の、数、葉、三、篇、に、酒、飲、木
の、来、り、色、或、次、午、の、敷、以、外、交、史、法、を、修、入、
時、を、移、す、田、中、留、子、を、未、書、入、大、窪、夫、氏、に、念、合
之、就、七、政、教、社、を、塾、教、育、に、就、し、意見、を、徴、し、未

十九日

徳原製

喰、風、園、丁、之、人、来、り、島、尾、北、母、の、子、を、登、見、大
友、三、阿、夫、以、教、社、を、修、入、心、を、腹、行、を、修、入、又
後、() の、就、時、外、交、史、法、を、讀、み、京、都、の、小、号、喜、三
号、大、師、派、考、野、兼、二、大、師、派、法、家、修、入、資
料、を、六、号、を、修、入、

二十日

日

喰、朝、来、報、紙、を、考、し、改、上、の、花、を、江、船、を、受
く、紙、を、修、入、印、作、の、意、を、修、入、未、書、入、未、書、入、楠、本
正、敏、男、死、去、十一、時、散、果、江、船、三、福、に、散、り、物、を

又推取七葉す、新の楽林と題五を題す、
獨逸とイトラシ、既満河回承伝七聲のりす

二十一日

此、朝来雜初と著す、本字登長三、東江村と題す、
妻の執性所著と題と協流と題と、
のりをもす、(本名関生、号中、没年七十三) 政基、
午後散策、多園丁又一人あり。

二十二日

櫻原製

此、河宮不二、山田清心、長尾山、道山、書三
等文、二、其、初、河宮、多、王、雲、五、著、漢、字、の、四、陽
番、難、換、字、法、(河宮、注、)と題す。山田、と、撰
物、本、江、に、書、所、記、(手、五)配本、午後、正、念、天、心、集、と
讀、大、谷、久、島、寺、本、妖、雅、と、来、商。

二十三日

此、朝来雜初と著す、日本書、藏、會、の、鹿、島
増、花、三、扁、額、二、枚、交、付、福、徳、寺、の、社、主、鈴、木
昌、雄、に、寄、附、金、六、圓、交、付、今、日、と、廿、六、の、日

防也、浪習を修ふ、十一時散策、松屋デパート
粒と陶物志の舟の室物を眺め、初夜、子金天
心集を讀む、上河守兩最方指揮、松井大將軍、司令官
朝香中將、抗物、上陸中、司令官、柳川中將、交代
帰途、畑大將、最方指揮、官とて、並行

二十日

吃今朝の朝多、敵機台、松屋を觀、関岩
次中(女末)大去、つき、吊物、を、信立、浪習、つ
づく、十一時散策、石名、河、海、を、眺め、外、出、中、河

藤原製

野桐谷、月、波、回、家、法、勸、員、法、案、を、衆、議、院、に
提出、さ、る、い、ま、法、案、及、大、推、干、北、論、議、場、に、起、る

二十五日

吃、朝、来、政、教、社、に、投、志、き、私、塾、制、の、重、石、を、著、し、
て、成、立、途、信、者、の、於、法、途、途、行、の、に、成、す、り、校、和、と、七、七、の
來、る、方、存、鐘、部、美、法、干、夜、散、策、が、パ、ー、ト、に
桶、形、の、瓦、瓶、を、眺、め、し、ゆ、く、く、と、あ、り、あ、り、と、海、を、
つ、と、し、日本、誌、行、協、会、の、新、誌、旅、を、定、め、お、も、需
め、す、

二十八

町政教社、私塾と題す。原形を考ふるに
四角の任友印りをも、紙金引出す、和紙又三二
内長法、安のつぎ、重千田郵送、上室、教養
月巻、録、竹、郵、法、創、法、と、前、島、男、の
ことと書く、流、の、流、爪、痕、も、裁、読、も、腹、稿
を、定、ま、る、時、を、移、す、

二十七日

町政、町、行、の、法、の、難、法、に、投、入、さ、る、福、を、考

一、出、入、成、の、法、を、考、ふる、に、重、千、田、郵、送、を、考
せ、し、目、の、又、双、重、の、法、を、考、ふる、に、余、の、寄、附、の、礼、を、考
四五の出、入、物、を、考、ふる、に、保、を、考、ふる、に、校、稿、を
収、め、し、流、法、後、の、成、果、を、二、指、新、十一、の、法
人、七、出、入、の、法、を、考、ふる、に、又、原、形、を、考
す、所、室、法、習、事、の、

二十八日

町、政、法、の、原、形、を、考、ふる、に、重、千、田、郵、送、の、
集、壽、と、題、し、小、室、三、代、押、書、を、考、ふる、に、流、法、の、

七 後、午後散策、紅葉池、紅葉の気
時代の富士登山の宿も上の、紅葉文三二年志
法要の要、及物利来、

〇 三月

一日

今朝来、富士登山の宿をかき、午後成宿、
錦野来、詩仲島の碑、振本と交、東東園成、
余の三、林、女子、因、後本と書、日、

藤原

十一時出浴、浴衣を着、
を糸、
姓、
富士登山記を、
印税、

二日

昨日、
と、
温、
日、

三日

小雨、海部末山院の造墨を擧ぐり、筆定を法公
寺の可法にてあり、一二帖を贈り、安田義彦、天去、
つと、平状を呈す、牧葉、石宿、嘯、由來、京都の
寺、右、院、雅、三、西、花、行、山、田、三、項、長、尚、を、寄、り、
病、老、確、法、を、讀、む、お、お、院、雅、奉、法、一、既、ん、を、寄、り、
在、中、作、委、員、会、と、奉、言、と、致、つ、寺、議、合、致、氣、立、つ、

四日

晴、余の文墨、陰活の長編を収め、書苑に振刷

榎原製

新紙を奉す、又日本聯合古書園、雜法の一案、
石、山、村、を、致、す、清、製、謹、致、後、了、

五日

晴、ピアノ、修、儀、三、松、林、の、信、師、と、も、金、澤、の、葉、納、
鳥、厚、田、匠、文、の、書、十、四、卷、等、を、寄、り、
法、と、讀、む、向、金、不、二、雅、と、未、去、四、湯、法、三、項、を、寄、
お、を、贈、り、又、一、十、一、時、教、葉、石、宿、に、物、を、贈、り、
二、館、七、坪、山、村、お、お、丸、の、造、者、と、讀、む、
敏、の、法、道、合、辰、法、公、の、在、來、内、也、也、

午後雜紙を著す。西郎亦著す。

九日

明、朝来雜紙を著す。杉打泊三馬坊八打秋
抄、是迄の題書と未七五七と著す。此、午後
七雜紙と書きつゝ、夜来雪あり、以流巡査花
と題す。四十八巻の軍書共可決。

十日

今朝天に白暈、降雪止まず。朝来雜紙を著す。
三有巻と書き、苑の福料十五圓未、同、之、後、場合

環原製

り来、午葉の人生創造社、此、福を著す。午、
陸軍記念のり、正午、午、一、分、海、津、車
乗、客、一、齋、と、題、す、正、午、日、本、之、物、と、題、す
高、野、原、公、著、と、題、す、相、比、島、知、事、の、追、憶、を、著
所、謂、我、所、加、後、我、の、福、後、定、則、今、夜、後、會、書、は、
の、行、進、曲、を、中、野、原、の、林、上、杉、山、大、將、の、陸、軍、記、念
の、追、憶、と、す。

十一日

朝来知事の追憶紙を著す。此、午、一、分、海、津、車

八治泰：五味を治す、口中耳裏を清し、治泰中
より長熱、二時半音回、回す所、到り、回す所
協今、理言、人言、治泰、今、後、精、老、新、今、
今、今、七、物、今、夜、未、今、今、

十二日

治泰、未、難、治、今、今、今、今、今、今、今、今、
山、道、河、井、今、今、今、今、今、今、今、今、
四、中、今、今、今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、今、今、

稗原製

三千八百

十三日

可

治泰、未、難、治、今、今、今、今、今、今、今、今、
注射を今、今、今、今、今、今、今、今、
訪、者、回、家、大、島、今、今、今、今、今、今、今、今、
今、今、今、今、今、今、今、今、

十四日

治泰、未、難、治、今、今、今、今、今、今、今、今、
七、十、年、今、今、今、今、今、今、今、今、
所、振、言、天、後、昔、今、今、今、今、今、今、今、今、

儀式に宣言をもち、倭文の時を移す。真時典二の
初、午後穀米、淡岩ニ物を振ふ。神宮、神宮の
隨筆を讀む

十五日

晴、及上弘花イ多ク家人ニ注射を施す。増田乙四
郎、午後、陸を村山秋浦、水、湯物と贈る。又、
協合ニ、村上協士、澤去島、菊、飯日、徳(上巻)を寄る。
夕、夜十時、葎、頭酒を温めて、コトウ、一編、統の初
煥、伴合の、淡、説を聴く。群衆の、喝采、刺、沸く

十六日

晴、朝、未、蘭、飯、日、徳を讀む。雜、飯を奉る。西村、文、則
より、奉る。午後、微雨、紛、件を極めた。協、勤、員、法、案、無、終
正、七、嘉、議、院、通、思。品、丹、毒の、熱、尚、三、十、八、度、飯を、細
細、と、吟、み、る

十七日

晴、朝、未、旋、飯を奉る。古、石、倉、中、より、奉る。及
上弘、花、イ、多ク、家人ニ、注射を施す。新、者ニ
米、花の、苗を、振ひ、伊、橋、丹、金、巻に、飯、を、物、を、雜、徳
民、族、特、種を、讀む。午後、亦、雜、徳を、奉る

北運を囑りてある、雑誌を下さる、友合の別荘村上
と林橋一函と贈り来た、十一時上船、船付の物と贈
り、養生堂に飯を、武進に、前園の華燈を、敷山現
す、又岩花の種子をお下さる

二十一日

春季會に参

晴、まよ比岸の中り也、成田山、茶木、昭しと、二十
八日、一千年祭、御練大法、今よりつき、多の此来、早
大く、四月三日、卒業式、お祝、餅、并、餅、未、代
十三山、芝田、市、お、郵、送、日、本、橋、筋、物、を、贈、り

櫻原製

高松尾、公名、に、飯、を、賀、田、直、次、を、送、り、何、句、を
寄、り、せ、り、し、雜、紙、を、寄、り、す、

二十二日

雨、朝、未、雜、紙、を、寄、り、す、山、田、清、也、私、法、院、現、代、の
刊、行、の、任、友、館、に、預、金、二、百、圓、引、出、し、稀、書、複、写
本、二、冊、既、本、を、受、く、中、心、山、別、の、獨、作、法、會、講、談
筆、記、を、讀、む、

二十三日

和様殿、卯未雜縁と書かす。富田寺次中尾馬と傳ふ十
時以て降雨。十一時迄と傳ふ。吳坂、本ころを弁し。言
時尾公名を飲して切へ。五時稀と傳ふ。合の口人と名
と所迄の合席より。四、合す。山田主人と伊原
三村川瀬木村未合、合の次期が。協儀し、席上押
立の後別ふ。下、四、白木倉主人大村の無也
兩夜に入る。七、本、本日、衆議院に於て大()
の西尾本屋を陰居す。四月三日早大の校及大合
入つて来ぬ。富田寺次中尾馬と傳ふ。

棟原製

二十四日

兩齋、間宮不二、松本派、新刊、用色、故、法、院、を、終
る。本、寺、日、の、本、林、五、世、雜、法、ホム、ライ、フル、會、の、有、り、
二、折、り、余、の、字、を、取、め、ん、と、七、教、授、攝、影、寺、の、之、重
來、物、抄、を、終、る。又、丸、山、雅、也、の、跡、を、目、録、名、取
夏、目、も、道、著、也、と、子、の、為、に、語、り、し、と、定、め、る、事、
後、教、員、丸、山、に、近、刊、を、終、る。亦、微、而、別、る、雜、法
ホム、ライ、フル、此、小、稿、を、郵、送、す。

二十五日

西川登瀛一馬法字考祝賀会の余の滄海草
記を終ひ、平凡社の人名辞典に余の著と収め
らる。行歴を問ひ未だ、難解と著す。龜山
書三と毫の彫り向の城後、おひし折換
れをぬる女の心のかりりるを歎きての和歌
五六首を書きしを好む。予、島根あり又
故也。正午宿の伊勢丹食中、酒飯中、官路、七
日午四時の最終の毛注の重宝の御案決定
電力業の多未決をさるゝ公為り分り延日長、
否か二時に迄未詳、日中身炎う政慶代三十五

山井海 電力業の為め今朝一日延長

二十六日

晴風、暮分弘の暖き夜、大山天皇御料黒の運而、題
あり、未三十分福城夕合の道に日本回を候場、
未六時六分天心集を讀む、午後散策、淡島観音
を参り、和風、
らう拍と知り未だ、天の為之死去葬式二十九日
火災保険、五月五日満期の旨通知あり、昨夜深夜
電力業未決、
通

二十七日

日

朝来雑録を著す、名取夏司、海志を著す、
其の四々一々、押巻を其の原田積善、今も原田
二印、二冊、字の異なる、十一時散策、電車に乗るも
三急行に列り、乗換て以右に列り、其の原田に酒錢
一七、向の舟、六、坪、平、早、大、字、書、二、つ、ま、訪、祝、帯、を
持、り、園、丁、来、り、松、の、坊、守、繩、を、解、き、去、る、夜、未、眠
也、原、田、二、印、休、を、讀、む

二十八日

榎原製

而、新、地、物、産、物、勤、勞、の、心、を、示、す、小、舟、を、之、り、ま、亦、能、
お、と、著、す、其、の、原、田、積、善、も、世、國、子、を、送、り、来、り、天
心、の、異、術、史、を、讀、む、紙、本、書、也、書、院、外、の、書、也、未、書、
午後、能、所、を、著、す、看、後、幼、の、病、を、解、く

二十九日

朝来雑録を著す、任反、預金、三、万、五、十、圓、引、出、家、用
三、支、の、早、大、も、活、激、な、分、の、結果、を、著、す、来、り、天、心、の
日本、美術、史、を、讀、む、午後、天、心、為、之、の、先、お、式
に、臨、む、今、場、空、書、院、校、庭、中、の、草、丈、満、開、

三十日

晴、大塚、今所、の、深、深、未、接、相、米、能、取、と、暮、下、す、
併、人、の、敷、米、能、取、と、山、刊、也、と、婚、の、資、生、也、と、哺、
夫、也、且、後、也、丹、兵、原、平、出、京、と、報、く、来、り、

三十一日

晴、丹、兵、原、平、城、平、と、古、世、を、信、ひ、来、り、亦、是、祝、
難、節、と、呼、ぶ、十、時、迄、七、日、は、彼、者、の、金、四、日、
の、十、時、迄、と、九、日、を、主、柳、志、分、母、の、三、時、
迄、也、と、報、也、是、日、月、の、二、人、と、来、り、
同

櫻原

四月

一日

晴、初、米、能、取、と、暮、下、す、亦、是、日、の、石、工、作、之、間、男、一、
来、也、(十、十、日、の、余、の、家、の、墓、柁、の、修、繕、に、就、也) 澄、所、持、の、筆、
一、面、を、相、静、に、書、ふ、故、也、故、米、物、と、婚、の、資、生、也、
中、に、故、也、由、也、故、又、能、取、と、暮、下、す、早、午、
四月、廿、日、雅、致、園、に、報、り、

二日

晴、訪、税、二十、八、日、早、三、時、後、納、所、依、入、河、男、一、
同

夫、其の角谷ありと、電位も上乗二三の故に、古を報
し、夫の、雅俗を兼し、時を移す、午後散策、未
又雅俗を兼す、あ井小大、一死云

三日

神武天皇祭日曜

晴、朝来雅俗を兼す、舊日定小、徳大、来福
村山秋浦、ひびす、十時吹く、風強く吹き、志は
新は、角谷も、果物二品、利す、角谷公家の墓
下、二人と付い、来り、礼に、文物と並ぶ、風収まり、夜降
雨

櫻原製

四日

探味

晴、朝来雅俗を兼す、向子美、遠の、を、遠科、醫と、訪め、
午後と、散策、各所の、極、是、時、見、以、也、台、宛、在、と、政、略、可
此地、激、略、上、の、在、高、の、地、難、越、一、も、徐、村、の、死、命、茲、に
制、し、湯、地、が、也、殿、ハ、口、間、に、及、人、比、滿、我、想、あ、ふ、川
瀬、一、馬、り、来、向

五日

晴、朝来雅俗を兼す、伊太、神、文、化、研、究、会、
より、文、身、家、如、シ、ヌ、シ、ク、カ、ク、セ、也、の、今、ま、り、き、来、状

新具美術院と母新院長の家事の秋列る。
長海龍男の幼湘南詩鈔二部終る。此集
の首巻に余の序を収む。十一時先を伴ふ散
策東台の極美と観。仄月を日飯と湯浴
杉屋のベランダと星堤の梅を乞へ物る不帯
はる桐谷のゆ。赤を梅ふらま。菟田昭南の和歌
模倣書物と任立方志の巻。托支余の投書を
ぬめり運に者の能法、通信の知識と揚別桂湖
村の秋列る。

榎原製

六日

時津端道彦の秋列る。菟山書下二本極長
尾秋の南摩羽峯。送別の待教首も録し
こマウリを燭さふ。其のゆ。秋三樹の題の相
題す。雅好を著し。時を移す。午後出遊。上野松
坂屋の新北支展を觀とゆふ。石角春之助
も余の序の秋の校正携来の二校も及ぶ。
即日吟魚齋と題。一手南を施す。夜に入り着
讀婦 濤入。

七日

明、岡山、山来、日、予、忠、居、多、先、人、著、述、出、版、之、祝、と、来、出、
南、京、信、道、子、ら、り、一、終、磨、練、ま、ま、の、日、回、幸、波、紀、念、の、
講、演、会、を、行、な、し、講、演、著、記、を、授、け、給、ふ、支、那、の、先、家、
民、族、の、開、印、の、と、り、の、勢、力、あ、る、と、し、と、り、す、午、後、又、
而、夕、五、時、紅、雲、湖、に、別、り、陸、合、に、臨、む、高、田、
井、上、志、林、来、り、夕、東、来、日、と、も、泡、華、の、投、射、を、
需、め、来、り、

八日

理原製

明、戸、田、係、四、丁、の、文、の、場、今、の、得、の、と、り、日、法、村、山、秋、
浦、遊、し、来、法、救、世、演、法、會、を、遊、行、し、其、の、先、人、
の、遺、著、經、新、傳、説、史、記、を、贈、り、来、り、午、後、新、著、の、
散、葉、す、桂、五、十、三、の、告、あ、り、に、懐、か、る、あ、ら、
悔、状、を、表、す、朝、に、來、り、一、と、り、此、地、に、講、演、を、行、な、し、
パン、フ、レ、ット、と、を、寄、り、來、り、

九日

明、朝、未、能、館、を、兼、す、牧、野、三、郎、(通、次、守、善)、に、海、
と、是、す、一、と、り、島、屋、弘、来、り、白、鷹、を、贈、り、村、山、秋、

浦の為め坂の道迄の山物：是運、角谷甚三次
出京、着後婦去る、午後教養音の京良工
高品と見、妻屋弘と囁とん、大正天皇
御料の器由来記を細記して投郵す。

十日

日

晴、朝未牧の、恒糸係物史の法と清む、氣分
優る、夕終、心は、若、讀む、夜、又、雨

十一日

標原製

雨、朝未、果、車、日、多、夜、音、喉、の、有、好、を
作、の、此、也、の、の、方、名、法、夫、外、切、其、喉、に、産
い、元、三、指、刻、印、の、相、是、器、も、妻、屋、弘、と
り、山、多、州、の、午、時、而、と、衝、七、夜、名、と、列、り、三、福
こ、酒、飯、と、切、へ、ふ、六、を、お、と、妻、屋、弘、と、刻、と、か
り、脱、鞋、而、あ、き、り、路、を、今、夜、角、谷、甚、三、次、と、云
の、大、橋、渡、一、と、近、若、果、後、三、道、と、名、の、セ、イ、キ、云、

十二日

晴、東京、角、谷、の、音、を、聴、く、之、友、と、懐、の、二、箱、と、投、郵、す

叔弟紹生好を名に著と著下と辨ひヨリニウクニ浦
才、收中其、中谷正夫とと米也、讀書且新稿と
著下し夕陽のありとと、丹兵衛平田の後海に出た。

十三日

晴、山田穀城選子又一とと之夫の歌集を出版こ
んとと米也、前谷集三次とと見書物到り、米也日
とと一箇を扱し、晴の出しとと石村の訂正と中送る、山田
又一とと米也、尚米也、市子詩佛茶うつとと米也、毛紙十
枚押、米也を嘱とと、雜紙現代と讀ん、晴を後了。

始并合より米也、午後閑、東し、毛紙十葉押
毫、大木ととと、米也を贈り米也。

十四日

晴、朝未始米也を著下す、余の扱稿を扱女とと雜
誌、新文化に福利、早大田吉館の類目、新
（高業部）出版、つぎ送り米也、午時始米也、散
米也、養生を、飯を、午後版上、山花集、飯の注射
とと米也、也く形、飯を、米也、婢、病を、米也、つと飯
の、汽、米也、米也、深更内子、縁とと米也、日、つと脚部

ニ打撲傷をうけ一日に死せむ。おまふ風はけし、堀尻
高一勇死去。

十五日

烈風相来難解を著し、堀尻九常一二吊状をとり
す。海軍隊^{（海軍）}の東洋と需の由子の改定案を呈し、
トゲンの撮影が骨節と検す、指痕の一人偏い
入る。トゲンの撮影が骨の打んあること命り午後并
来手前とす。河津不二様も新刊同の改定案を
案せしめる。東洋の改定案を呈し、
短絡を求め、第5刑定とも返す。

棟原製

十六日

横山章の訃報、山田又一と未亡、難解と著し
去し、トゲン代二十回返答後、仕掛、致金
一百万円出す。十時海軍東洋未診^{（未診）}、新報連
横山と廿一日東京行、金利東、十一日日本橋筋
ニ物も帰る。去る、金、丹英、原、赤、未
亡。

十七日

日

噴、亦自改制、癸卯五十年紀念日也、五月十日、
十二、表、令、回、用、の、後、大、令、の、通、條、列、の、十一、時、出、
游、行、所、の、伊、勢、舟、合、會、の、酒、飲、し、日、本、橋、く、回、り、
白、木、橋、を、上、り、方、り、近、刊、の、萱、堂、花、傳、を、購、め、
物、宅、後、午、睡、し、以、り、北、海、道、橋、本、主、人、と、果、物、を、送、り、来、
り、萱、堂、花、傳、を、送、り、高、井、忠、夫、長、崎、心、利、余、
を、飯、所、合、り、名、春、今、長、に、推、薦、せ、し、め、し、り、き、米、
訪、深、更、其、成、一、也、(島、地、味、を、免、を、贈、り、)

十八日

榎原製

噴、亦、自、改、制、癸、卯、五、十、年、紀、念、日、也、五、月、十、日、
遊、行、所、の、伊、勢、舟、合、會、の、酒、飲、し、日、本、橋、く、回、り、
白、木、橋、を、上、り、方、り、近、刊、の、萱、堂、花、傳、を、購、め、
物、宅、後、午、睡、し、以、り、北、海、道、橋、本、主、人、と、果、物、を、送、り、来、
り、萱、堂、花、傳、を、送、り、高、井、忠、夫、長、崎、心、利、余、
を、飯、所、合、り、名、春、今、長、に、推、薦、せ、し、め、し、り、き、米、
訪、深、更、其、成、一、也、(島、地、味、を、免、を、贈、り、)

十九日

噴、亦、自、改、制、癸、卯、五、十、年、紀、念、日、也、五、月、十、日、
遊、行、所、の、伊、勢、舟、合、會、の、酒、飲、し、日、本、橋、く、回、り、
白、木、橋、を、上、り、方、り、近、刊、の、萱、堂、花、傳、を、購、め、
物、宅、後、午、睡、し、以、り、北、海、道、橋、本、主、人、と、果、物、を、送、り、来、
り、萱、堂、花、傳、を、送、り、高、井、忠、夫、長、崎、心、利、余、
を、飯、所、合、り、名、春、今、長、に、推、薦、せ、し、め、し、り、き、米、
訪、深、更、其、成、一、也、(島、地、味、を、免、を、贈、り、)

やま

廿日

昨朝未だ早を著す、市山屋をも四民を神大能
典才十三巻即未巻利未、中堂燈物京うつま
物を通く、未、今田中屋、白心、の甘酒、刻
の甚、(約) 兼、瓶、を、午後一時、帝
回、方、利、大、今、治、丁、の、政、分、の、後、
冬、す、日、本、社、行、協、合、兼、法、旅、
利、と、七、月、節、
秋、と、七、月、節、
秋、と、七、月、節、

榎原製

二十一日

昨朝未だ早を著す、内子、夕、傍、以、未、七、日、目、海、
診、任、可、と、三、人、雜、書、と、後、又、時、と、移、す、
若、花、と、楳、の、中、兼、兼、
時、を、移、す、
利、未、
高、橋、鑑、次、
堂、
堂、
堂、

二十二日

昨朝、芋を植へ、
昨朝、芋を植へ、
昨朝、芋を植へ、

朝の榎後勤王宮を賜り来り、又内々時を部次
官と對支那の提唱、對支文化に事業社業の
パンフレットを寄るといふこと、夜来白

二十五日

而、危國の若菜開く、新像今盛人也、却来去の報
榎後勤王宮を授け、昨日真崎桂次郎、病氣
已舞、榎後引と決ま、預金三万圓、出
向、女、亦、謝出と為る、難ねと云ふ、
十一時外出、榎後引、二つき物と始め、支那

榎原製

吉妻の海田行、空飛ぶ、此も、結ぶ、社祭、礼を
り、殉四の士、四千、数、百、名、を、合、祀、す、以、て、名、の、石、工、作
久、間、昌、一、と、墓、の、修、理、成、を、報、し、二、月、六、日、と
朝、一、車、の、四、号、車、の、定、時、に、又、を、親、族、時、を、移、す
又、別、車、日、の、友、を、決、つ、樹、に、余、の、投、箱、を、掲、ぐ

二十六日

昨、今朝、先、回、榎、後、引、を、か、し、九、時、中、分、上、の、時
此、行、真、崎、桂、次、郎、の、病、を、問、い、ん、と、も、也、車、中、新、像
を、寄、り、多、行、七、一、車、也、十、時、有、崎、を、移、す、帯、の、

冷酒を傾け鞠めし井南を喫し十二時二十五分
水上驛より橋原野道へ入り地這り高く難溪
河我宮と見え念を行けり今や山中雪多く、成後
こ入り権守小出と云ふ如く皆雪下り在り然れども
利と宮橋元いふきし遠山の雪道と相映し一時
頃合をこ入り美酒を傾く、西の半影の、着衣
着後互に酒の利を強きうらむも、度
著も立ち入り利為人を問ふも心なきに似せり、即
朝訪問と決し、先を真峯の祝儀も橋鏡沈方
、きし真峯の高枕と問ひし、又真峯の方

棟原表

今朝訪問と電話する報を先合及栗原家
を訪ふ難産と下拍に飲んて臥す

二十七

晴、早天日見え、四号車の宮内史法を執務
上等浴衣、有橋鏡二尺、指、大時元日、伴真
時を訪ふ、先真峯の門前より、先を五十公定の墓
参り、おしく、余の中太、即ち先づ病状を問ひ、次
病状を述べ、通る病入、即ち兼弱の病あり、いふに、
二元氣あり、余の病も、即ち兼弱の病あり、いふに、

十分許、流し、友人の談話狂々、ウリ、禱の合、
と、入、精神、不、原、あり、と、く、多、う、別、家、三、酒、合
の、原、を、と、交、け、折、舟、の、志、留、と、長、日、初、七
十二、時、刻、と、ま、け、持、れ、た、う、目、動、車、を、も、れ、た、の
こ、ゆ、く、と、真、心、の、大、勢、に、ま、ま、あ、る、あ、し、と、心、実、
長、後、の、今、え、ま、ま、千、と、し、二、才、素、し、惜、む、へ、き、
と、ま、り、兄、者、を、二、程、前、と、ま、阪、二、献、を、毎、時、
一、来、流、四、時、より、元、五、十、分、命、も、物、着、飲、問、松、井
却、法、高、橋、鏡、二、に、法、元、智、茶、屋、に、飲、む、高、橋
元、一、鏡、二、巻、子、早、大、現、二、神、亭、業、(七、来、唐、)

二十八日


此、早起、雪、止、の、意、以、下、(下、巻)を、流、し、九、時、自、動
車、を、七、山、の、下、農、園、を、流、し、北、宮、の、山、垂、に、急、し、十、数
分、の、間、の、平地、を、流、し、洋、花、館、中、千、コ、リ、ツ、カ、と、培
養、す、す、砂、地、を、流、し、故、に、名、地、林、根、培、養、を、道、し、
各、地、に、輸、出、す、今、日、花、堂、を、流、し、遠、く、聖、林、紅、黄、紫、白
の、虹、か、と、終、り、ん、を、流、し、根、り、花、を、流、し、と、る、と、る、と、
車、停、一、
の、花園、と、稱、せ、し、も、透、美、を、あ、ら、う、と、思、い、ん、が、
一、時、後、去、つ、て、白、山、公、園、に、入、る、お、ま、い、り、と、世、中、長
井、平、坂、の、碑、を、建、つ、余、の、押、是、に、係、る、を、以、て

守坂と云ふ、位地は、赤武亭聖像の向い側、上の地
 形より、園内を散策するに、借主の山を渡り、意を直
 し、信州の南より、古西埋立と云ふ、公園の地域大い
 振込と云ふ、我々の内、式部、の書院を見し
 徒歩中、古河の、と云ふ、の、次、心、集、に、想、入
 せ、笑、案、し、七、落、白、物、取、り、入、り、半、後、是、栗、林、を、訪、ふ
 予、此、し、て、讀、む、又、刻、に、到、り、四、五、校、友、と、松、久、錫
 茶、庵、に、飲、み、九、時、廿、分、の、汽、車、を、て、ゆ、途、に、就



榎原製

二十九日 天長節

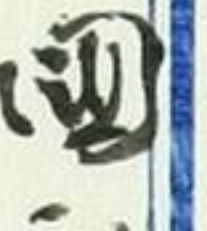
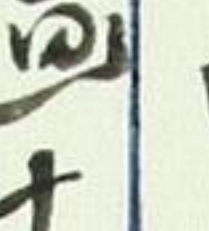
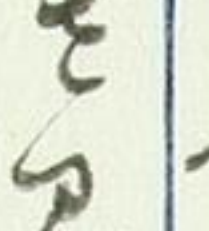
頃、今朝五時、既醒む六時、は上野、着、是、切、毛、七
 分、天、長、節、也、不、立、中、一、余、の、寄、行、を、扱、出、り、就
 行、發、法、并、日、本、原、田、日、も、入、り、振、利、希、存、者、よ
 り、通、行、發、法、の、扱、利、の、御、金、五、十、兩、利、其、東
 京、日、の、社、源、義、行、七、万、五、千、年、祭、栗、由、此、寄
 取、る、洋、念、寺、檀、家、後、代、を、本、山、を、寄、附、金、の
 件、に、つ、き、未、簡、也、右、に、振、り、余、の、寄、入、を、扱、出、り、
 五、五、日、の、ホ、ム、ム、フ、に、振、利、田、中、留、子、胞、澄
 血、に、罹、り、大、定、元、氏、に、念、今、迄、動、も、申、来、り、十

一時元と出陣の望に、 嘯と仰ぐおの衆をよ
り勢の味増法、真の陣あも鑑法、未だ三よ
り菓子利未、

三十日

時、朝来旅の味を、 月未家用の為め、款金四万
田引出する、正午、 刻向上合の重役令と臨む、淡
水の西田原まに、投前(山口真光の正し、関一也)
戦報三云く、漢口上空我元行城五十敵城八十
と決戦五十一城を撃つ、望し敵の心腹を奪

榎原製

ふと、 刻向上合の満ち終り、羽左と空の勢の
首領画十数幅、 刻と見る、時、日優の於し
た、得表の画像也、又地下室、拵生(中)の物
品架と見る、 刻

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

粘
紙

張
原
製

